

新・こどもと健康

No.21

2018.10.1

インフルエンザワクチンの確保について

昨年は国がワクチン株の選定をやり直したため、ワクチンの供給が2か月程度遅れ、皆さんが打ちたいときに打てず、大混乱しました。その原因は、まず作ろうとしたワクチン株の増殖効率が非常に悪いことが判明したためでした。

さて、今年厚生労働省は9月12日の時点で昨年の使用量より約159万本多く出回る見込みと発表していますが、再びワクチン株の増殖が悪く、昨年を下回る生産しかできていないメーカーがあります。遅れずに出荷されそうですが、減らしたメーカーのワクチンを注文しているところでは、割り当てが少なく、残念ながら当科はその減らしてしまったメーカーに当たっています。昨年を上回る生産ができていないメーカーもありそうなので、最終的には帳尻が合ってくるのかもしれませんが、確保できる範囲で予約を開始させていただかないといけない状態です。

10月1日(月)からインフルエンザワクチンの予約を開始します(当面制限あり)

パソコン・スマホ・携帯からの専用サイトで受け付けます。

＜ワクチンの確保が難しいため、昨年と同様の制限で開始させていただきます＞

まずは、

- ①当科にカルテ番号のある中学生以下の方、
- ②当科にカルテ番号のある16歳以上の受験生の方、
- ③65歳以上の堺市民の方(定期接種として、カルテの有無は問いません) です。

※65歳以上の方と、当科にカルテがあっても16歳以上の方は予約専用サイトでは入力できませんので、診療時間内に電話又は窓口でご予約ください。

2回目が必要な方は4週間程度空けて予約し、ワクチンを確保してください。

10月10日(水)からは①と②の「カルテ番号をお持ちの方」の制限を解除予定です。ワクチンの入荷量や残り具合によって段々と、制限を解除のつもりです。



予約サイト <http://2977771.com/i/>

予約票サイト <http://www.yoshinhyo.com/download/aka7771>



＜受付期間＞10月1日(月)から12月26日(水)の予定

入荷量上限に達すると予約が一旦中断となります。次の入荷時期・量が決めれば、そのつど受付を再開します。

＜ワクチン接種期間＞10月17日(水)から1月31日(木)

＜接種日や時間帯＞

- ①水曜日の14:00から、10名
- ②木曜日の16:30から、10名(昨年は金曜でしたが、今年は木曜になります)
- ③一般診療時間内、1時間に4名
予約システム内でそれぞれ時間毎に定数を設定しています。
- ④11月10日(土)の13:30から50名、
11月24日(土)・12月8日(土)・12月22日(土)の13:30から各日100名

＜接種回数＞

6か月から13歳未満の方:約4週間を空けて2回

・2回目のワクチンも4週間程度空けて予約して、ワクチンを確保してください。

生後6か月以上で接種できますが、1歳未満の方は免疫がつきにくいといわれています。集団生活なら、接種を考えます。

13歳以上の方:原則1回。国の方針により、受験生の方も1回でお願いします。

<費用> 6か月以上3歳未満:1回目3,000円、2回目2,500円
(当科で1回目を受けていない方の2回目は3,000円)

3歳以上13歳未満:1回目・2回目とも3,000円

13歳以上:1回3,000円

65歳以上の堺市民の方:1,500円

堺市としては日曜日にワクチンを実施しているところ
もあるので、日曜始まりですが、これで正しいとのことです。

※65歳以上の方の助成は、平成30年10月21日(日)から1月31日(木)の期間の
接種でなければ認められていません。接種当日に65歳以上であれば対象です。

<同時接種について>

インフルエンザワクチンの他に、1種類だけ同時接種をさせていただきます。

<備考> 二十歳未満の方は接種日に是非とも母子手帳をお持ちください。

小さいお子さんでは他のワクチンも含めて、接種間隔を確認し、記録を残します。
完了していないワクチンのチェックにもなります。

詳しい予約の方法は当科ホームページの【インフルエンザ予防接種のご案内】をご覧ください。

インフルエンザワクチンの新しいお薬「ゾフルーザ®」

新・こどもと健康No.15でもお伝えしましたが、「ゾフルーザ」はこれまでのタミフルやイナビル、リレンザ、ラピアクタと違うしくみの抗インフルエンザ薬です。平成30年3月14日に発売され、1回内服すれば、治療終了です。既存の薬はいずれも、インフルエンザウイルスがヒトの細胞内で増えたあと、細胞外に出てくるのを邪魔する薬でしたが、ゾフルーザはインフルエンザウイルスがヒトの細胞内で増殖を開始するのに必要な酵素を邪魔する薬です。

現在のところ、体重10kg以上なら飲むことになっていますが、錠剤しかありません。錠剤を安全に飲み込める必要性があります。12月までに顆粒が追加発売される予定です。

10mg錠 
直径約5mm

20mg錠 
約8.5mm×4.4mm

12歳未満	体重10kg以上20kg未満	10mg錠1錠
	体重20kg以上40kg未満	20mg錠1錠
	体重40kg以上	20mg錠2錠
12歳以上	体重80kg未満	20mg錠2錠
	体重80kg以上	20mg錠4錠

**堺市では風疹抗体検査を保健センターで1回無料で受けられます。
風疹抗体が基準値未満の堺市在住の方にはワクチン助成制度があります。**

つい先日、厚生労働省は風疹の抗体検査を30~50代男性を対象に来年度から全額補助する方針を打ち出しましたが、堺市では既に各保健センターで月1回風疹の抗体検査を実施しています(堺市に住民登録がある20歳以上の方、無料、1人1回限り)。

風疹抗体が基準値未満の堺市在住の方にはワクチンの助成制度もあります。

堺市内の契約医療機関でのワクチンの自己負担額:1,000円、助成回数:1人1回限り

現在掲載の助成期間:平成30年4月1日から平成31年3月31日接種分

対象者:ワクチン接種日時時点で堺市に住民登録があり、接種日以前5年以内の風疹抗体検査結果が基準値に満たない方で、次の1から3のいずれかに該当する方。

1. 妊娠を希望する女性
2. 妊娠を希望する女性の配偶者
3. 妊娠している女性の配偶者

④ 助成には、予め風疹の抗体検査を受け、抗体が基準値未満である必要があります。また、堺市外などでの接種には還付請求制度があります。

(出典:厚生労働省HP『季節性インフルエンザワクチンの供給について』、朝日新聞DIGITAL2018年9月27日『風疹の抗体検査、30~50代男性は無料へ、厚労省方針』、堺市HP『風しん予防接種費用の助成について』『風しん抗体検査のご案内』)

10月・担当医の変更

13日(土) 片桐→赤澤
30日(火) 赤澤→片桐